

有機フッ素化合物の除去など安全な飲料水確保を求める決議

米軍横田基地（東京都福生市など）周辺で有害物質の漏出の有無を調べるため、都が監視地点に定めている井戸で昨年1月、高濃度の有機フッ素化合物が検出されていたことがわかった。うち1カ所の濃度は、米国での飲み水についての勧告値の19倍の値だったとA紙が報道した。

本年1月6日の報道によれば、都福祉保健局は昨年1月、横田基地に近い4カ所の井戸でPFOA、PFOS両物質の濃度を調査し、このうち立川市にある井戸で両物質合わせて1,340ナノグラム、武蔵村山市にある井戸で同143ナノグラムを検出したという。

2010年度から4年間、都環境科学研究所が、23区を含む都内の地下水を研究目的で調査し、基地に近い立川市にある事業用の井戸で2010年度、両物質の合計272ナノグラムを検出した。継続調査では、569ナノグラム（2015年度）から284ナノグラム（2018年度）で推移していた。

さらに都は昨年5月以降、過去に濃度が比較的高かった6浄水所で臨時調査を実施し、国分寺市にある東恋ヶ窪浄水所で両物質合計で1リットル当たり101ナノグラムを検出した。こうした事態に対して、都は、米勧告値の半分（35ナノグラム）を超えないよう管理する方針を独自に決め、府中市にある府中武蔵台浄水所（昨年の臨時調査で60ナノグラム）と、国立市にある国立中浄水所（一昨年の調査で38ナノグラム）を加えた3浄水所の水源井戸の一部からくみ上げをとめたとA紙が本年1月8日に報道した。

都は、昨年6月から有機フッ素化合物が検出された水源の井戸からのくみ上げを停止している。

こうした事実について、都から本市に対して情報提供がなかったことは重大な問題である。水は命にとって欠くことのできないものである。三鷹市民も有機フッ素化合物が検出された水を飲む可能性がある。

よって、本市議会は、東京都に対し、有機フッ素化合物の除去など安全な飲料水確保を求めるとともに、下記の事項を要望する。

記

- 1 徹底した原因究明を迅速に行うこと。
- 2 抜本的な対策がなされるまで、当該井戸水を飲料に用いないこと。
- 3 有機化合物などが水源から検出されたことを多摩地区の自治体に速やかに情報提供すること。

上記、決議する。

令和2年3月27日